

## 平成32年度末までに市民病院東側へ

# 新しい市役所庁舎を建設します

市では、老朽化が著しい市役所庁舎を平成32年度末までに、市民病院東側の敷地へ移転新築することとしました。

市庁舎の現況と課題、これまでの経過、新庁舎の建設における基本方針や想定規模などについてお知らせします。



### 市庁舎の現況と課題

- ・昭和44年に建築されて以来、大規模改修をしておらず老朽化が著しい。
- ・耐震性能を満たしておらず、大規模な地震が発生した場合に、倒壊または崩壊する危険性が高い状態にある。
- ・敷地は津波の浸水区域であり、また液状化の危険性が高い区域にある。

### これまでの経過

- ・H16 市庁舎の耐震診断を実施↓耐震性能がなく耐震補強が必要と診断されました。
- ・H27 耐震診断を再実施↓コンクリートの耐用年数は残り20年と診断されました。

### 建設予定地

災害時の復興・復興の拠点とするため、高台の市有地の中心部に位置し北・南部からのアクセスも良い市民病院東敷地を建設予定地として選定しました。



位置図

### 新庁舎の計画 (4月策定の基本構想から抜粋)

- ・H28 耐震補強工事の基本設計
- ・H28・4 熊本地震の発生
- ・H29・7～11 市民アンケートの実施や「市庁舎の今後のあり方を考える市民会議」の開催(全5回)などによる検討
- ・H29・12 耐震補強工事ではなく、「高台への移転新築」へ方針転換することを表明
- ・H30・3 市庁舎のみ建設することを表明

### 基本方針

市民会議や市民アンケートなどの意見を踏まえた8つの基本方針をもとに検討を進めていきます(それぞれの頭文字は、「焼き物」「海」「空」から引用しました)。

- ㍶ やっぱり安全が第一!! 安心・安全な庁舎
- ㍷ 気軽に利用でき、愛着をもてる庁舎
- ㍸ もつと質の高い市民サービスを提供できる庁舎
- ㍹ 後々のことも考えた長く使い続けられる庁舎
- ㊱ 上ばかり見ず身の丈にあった庁舎
- ㊲ みんなで意見を出し合って作る庁舎
- ㊳ その後の運用を考えた機能的な庁舎
- ㊴ 来庁者目線でみんなに優しい庁舎

### 庁舎の規模

職員数などにより延床面積を約1万㎡と想定し、コンパクトにできるよう検討します。

### 庁舎の機能

- ・大地震発生時の被害を最小限に抑えることができるよう免震構造を検討します。
- ・災害時においても通常業務や災害支援活動が可能となるよう検討します。
- ・環境にやさしくランニングコストを抑えるよう検討します。
- ・ユニバーサルデザインを導入し、誰もが安心して利用できる庁舎とします。

### 全体事業費

他自治体の事例などを参考に解体費なども含め68・2億円と想定し、今後、詳細を検討します。

### 問合せ 施設マネジメント課

☎ 35・51111 (内線556)